

御園小学校・名城小学校
小規模校対策
2校合同検討委員会ニュース

第3号

発行日：令和元年6月19日

第3回会議

日時：令和元年5月20日（月）10時～12時

会場：御園小学校 会議室

《第3回会議で話し合われた内容と決定事項等》

- ◆統合時期と整備手法について、第2回会議に引き続いて、話し合いを行いました。
⇒御園小学校の保護者や未就学児にアンケートを取り、その結果を受けて、再度話し合うことになりました。
- ◆校名の決定方法について話し合いを行いました。
⇒校名の決定方法を決める前に、「名城小学校」という名前を残すかどうかという議論を先に行うことになりました。

1 統合時期と整備手法について

○事務局から統合時期について、工事スケジュールを踏まえた3つのパターンを示し、教育委員会としてはできる限り早期の統合を目指すという考えのもと、パターン1にしたいと説明したうえで検討を行いました。

※仮に2019年(R1)9月頃までに統合に合意した場合

区分	パターン1					パターン2					パターン3				
	2020年度(R1)	2021年度(R2)	2022年度(R3)	2023年度(R4)	2024年度(R5)	2020年度(R1)	2021年度(R2)	2022年度(R3)	2023年度(R4)	2024年度(R5)	2020年度(R1)	2021年度(R2)	2022年度(R3)	2023年度(R4)	2024年度(R5)
名城小	設計	→	工事	→	工事完了	設計	→	工事	→	工事完了	設計	→	工事	→	工事完了
御園小	↑									↑	↓	↓	↓	↓	↑
	統合後に工事。					工事後に統合。					工事中、名城は御園に仮移転。工事後に戻る。				

主な質問や発言（☆各委員からの発言 ⇒事務局からの説明）

「統合時期」について

- ☆来年4月に間に合わせる事が御園小の児童のためになるのか、それがわからない。
⇒教育委員会としては、今年の1年生が4人であり、今後も新入学児童が少ないという状況が続く可能性もあることから、少しでも早く統合が必要だと考えている。
- ☆御園の保護者の中でも統合を急いでいない人から見るとパターン2が一番良いと考える。しかし、1年生が4人であることやこれから御園小に入ってくる子どもたちのことを考えると違う意見になるかもしれないのでアンケートを取る時間が欲しい。
- ☆名城としては、旗当番、通学の分団、通学の安全確保など、やるが多くなるのでパターン3はないと思う。パターン1、2では、パターン1でも来年の4月からずれるということも考えたうえで、統合するなら早いほうが良いと思うので1である。パターン2だと4年後になり、関係あるのは、1、2年生だけで議論としては、現実感がないものになってしまう。
- ☆御園は、パターン3が良いのではという意見もある。

2 校名・校章・校歌について

○統合校の校名は、新しい学校を作るという観点から新しい学校名が原則であるが、両校の合意があれば、「名城」、「御園」という従来の校名を使用できることを説明したうえで、校名の決定方法について4つの案を説明し、検討を行いました。

案	<案1> 公募し、検討委員会で投票し決定	<案2> 公募し、検討委員会で協議し決定	<案3> 検討委員会で校名案を提案し、投票し決定	<案4> 検討委員会で校名案を提案し、協議し決定
内容	①募集する。 ②上位数点の校名案に絞る。 ③検討委員会で投票する。 ④最も得票数が多い校名案に決定。	①募集する。 ②上位数点の校名案に絞る。 ③検討委員会で協議する。 ④検討委員会で校名を決定。	①検討委員会で校名案を提案する。 ②検討委員会で投票する。 ③最も得票数が多い校名案に決定。	①検討委員会で校名案を提案する。 ②検討委員会で協議する。 ③検討委員会で校名を決定。

主な質問や発言（☆各委員からの発言 ⇒事務局からの説明）

「校名」について

- ☆統合で「名城」小学校という名前がなくなることにより、統合前より児童が少なくなることがあり得ると思うので、「名城」という名前にこだわっている。
- ☆案1や案3に投票と書いてあるが、1票の重みを考えると、児童数を考慮しなければならない。そうすると全会一致が必要であると思う。少なくともはっきりした反対意見がなくなるまでは議論しなければいけないと思う。
- ☆案1の方法で決めたなごや小は最も得票数が多かった校名か。
⇒なごや小は上位数点の校名案に絞る時点では最も多くはなかったが、検討委員会の投票では最も多かった校名である。
- ☆「名城」という名前がなくなることにより児童数が減るといことが考えられるのであれば、「名城」という名前を残すか残さないかという話し合いになるため、それを先に議論したほうがよいのではないか。
- ☆案4になった場合に検討委員会で校名を提案ということになっているが、検討委員会以外のメンバーに聞いて提案しても良いのか。
⇒検討委員会に入っていないメンバーに聞いてもらうのは差し支えない。

その他事項について

- ☆名城は、自分が聞いている範囲では、今のままでも別に困らないという意見が結構ある。
- ☆御園は、名城が平成30年度に9クラスになったので、統合に向けて同じテーブルについて話をしているものだと認識をしていた。
- ☆お互い納得し合って統合を進めていけたらと思うし、統合には早さも必要であると思う。
- ☆国の方針で統合には賛同しなければならないと思うが、会議でお互いに不信を抱く格好で合併すると、しこりも残るので、納得して行動しなければならないと思う。
- ☆丸の内中学校ブロック全体の住環境をどうやって良くしていけるかという視点で話し合いをしなければいけないと思う。
- ☆子どもだけでなく、大人も減っているので、地域組織をどうするか学区同士で話をする必要があるかもしれない。
- ☆特区を作ったり、学区外通学制度の広報をもっと積極的にしたりすれば、小規模校化を防げたのではないか。

◆次回の会議について

日時：7月25日（木）午前10時～12時 会場：名城小 会議室

内容：校名、統合時期 等

※傍聴を希望される方は、7月24日（水）の17時30分までに住所、氏名を事務局までご連絡ください。（定員10名、先着順受付。御園学区、名城学区以外の方はご遠慮ください。）

◆小規模校対策2校合同検討委員会の内容等について

検討委員会の資料やニュース等は、市のホームページからご覧いただけます。

<http://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000112879.html>



◆お問い合わせ先（事務局）

皆さまからのご意見やご質問を受け付けています。EメールまたはFAXでお寄せください。

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境計画室

Eメール：a3226@kyoiku.city.nagoya.lg.jp FAX：052-972-4176 TEL：052-972-3282